

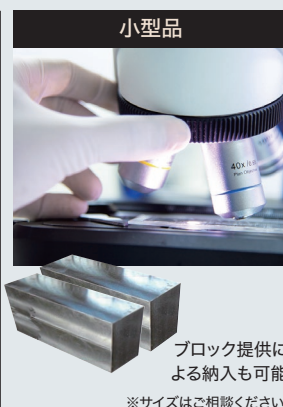
日常にある LEX の活躍フィールド

あらゆる分野で活躍するLEX®シリーズラインナップをご紹介します。

高温	400°C	<h2>LEX 40K</h2> <ul style="list-style-type: none"> ① 高温安定性が良好。 350°Cで強い効果を発揮 ② 自動車製造設備部品、 半導体関連製造装置、 航空機金型などに採用 <p style="text-align: right;">自動車製造設備部品</p>	
中温	100°C	<h2>LEX-ZERO®</h2> <ul style="list-style-type: none"> ① 実用金属材料の中では 世界最小の熱膨張係数 ② 半導体・液晶関連製造装置 などに採用 <p style="text-align: right;">半導体・液晶関連製造装置</p>	
低温	0°C	<h2>LEX-IF2</h2> <ul style="list-style-type: none"> ① 低温安定性が良好。 -196°Cより使用 ② 半導体関連製造装置、 航空宇宙関連部品などに採用 <p style="text-align: right;">航空宇宙関連部品</p>	
超低温	-196°C		

さまざまなサイズ・材質であらゆるニーズに対応

鑄物で製造する大型品、ブロックで提供する小型品、3Dプリンターで造形する極小型品と、幅広いサイズに対応しているほか、高温、室温、低温の各温度帯に適用可能な材質を確保しています。



Petit Column

日本鑄造 ハナシのタネ 日鑄百科

インバーの発明者について

弊社の低熱膨張材LEX (Low thermal EXpansion Material) は俗にインバー (64%Fe+36%Ni) と言われますが、発明者はスイス人の物理学者シャルル・ギョーム氏です。彼は時計製造の家系の生まれで、時計の針が狂わないよう、このインバーを発明したと言われています。現在でも国内大手時計メーカーの製品にはインバーが使用されており、時を刻んでも彼の功績は“不変”です。



シャルル・ギョーム氏

ちなみにシャルル・ギョームがこの発見でノーベル賞を受賞した1920年は弊社の創立年! 日本鑄造のちにZERO膨張を開発することなど、当時知る由もなかったでしょう。

お問い合わせは



予告

次号では各分野におけるLEXの活躍詳細と3Dプリンター品についてご紹介いたします。